

道徳授業地区公開講座

コロナ禍により「校内のみでの実施」としていた道徳授業地区公開講座を3年ぶりに全面公開で先週土曜日に実施しました。2校時には「生命」をテーマに全学級で道徳授業を公開、3校時には学校運営協議会委員・地域・保護者対象の道徳模擬授業、意見交換会を実施しました。

阿部主幹教諭による模擬授業



2年生「妹に」

1年生「決断！骨髄バンク移植第1号」



3年生「人間の命とは」



以下、3校時の模擬授業の際に説明した内容を掲載します。

学習指導要領が平成29年に改定され3年間の移行期間を経て、令和3年度より全面実施となり、コロナ禍でしたが…確実に特別の教科「道徳」として学びが展開されてきています。あらためて特別の教科「道徳」について確認すると…

教育活動全体と通して行われる「道徳」の要として特別の教科「道徳」が週1時間、年間35時間の授業が意図的・計画的に展開されています。生徒自身が主体となり、課題に向き合い、対話や討論などによって問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習を重視した「考える道徳・議論する道徳」をめざして、生徒がよりよく生きようとする資質や能力を養っていくことをねらいとしています。

特別の教科ということで評価も実施され、授業の中心となる教材として、検定教科書が導入されています。評価については、数値による評価ではなく一人一人のよさを伸ばし、道徳性に関わる成長を促すための文章による評価を行っています。